

# KDplug\_in Differ for DocuWorks

DocuWorks プラグイン製品

**KCS** カーネルコンピュータシステム

本社：パッケージ販売部  
〒221-0056

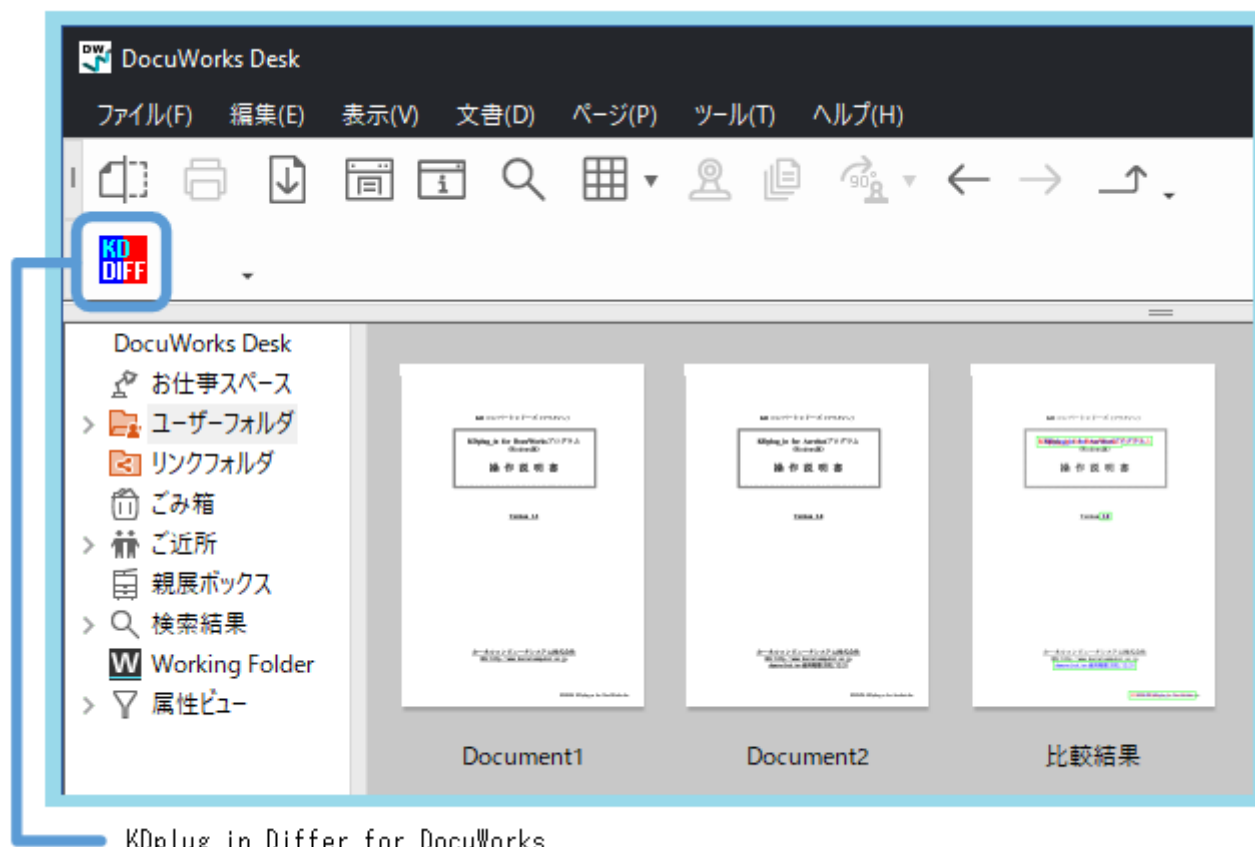
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル 6F  
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501  
URL：<https://www.kernelcomputer.co.jp>

## 処理概要

「KDplug\_in Differ for DocuWorks」は電子書庫である DocuWorks がインストールされている環境において DocuWorks Desk のプラグインとして利用可能なユーティリティソフトウェアです。

DocuWorks Desk 上で、図面や報告書などの新旧ファイルの差分検出をおこないます。

本製品では、精度の高い検出結果を得るために、傾きやノイズなどが発生したデータに対して、自動位置合わせ機能(傾きやずれの補正)やノイズ除去機能を搭載しています。さらに、相違箇所の見落としを防ぐ機能として相違部分の色づけ、枠で囲むなどの機能を搭載しています。



## KDplug\_in Differ for DocuWorks について

### 【比較機能】

DocuWorks Desk 上の 2 つのファイルと比較し、差分を表示します。差分情報（差分の有無、個数）をテキストファイルや XDW ファイルに出力することが可能で差分の検出が容易におこなえます。マルチページデータの比較に対応しています。

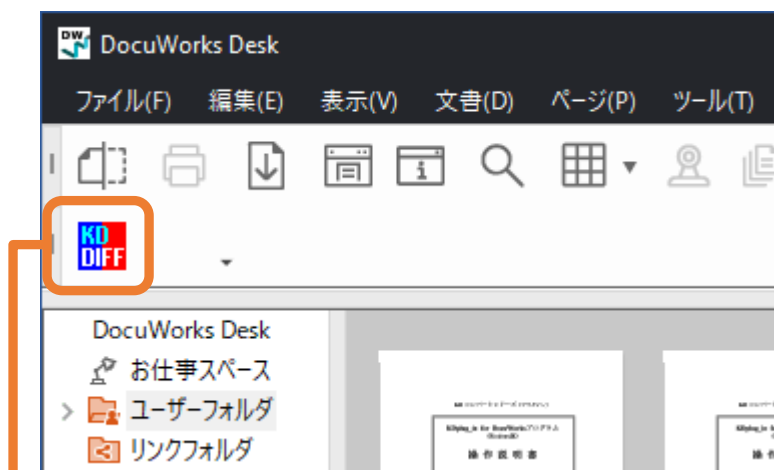
#### ◆対応データ形式

XDW, XBD, PDF

※ PDF の比較には DocuWorks 8 以降が必要です

## KDplug\_in アイコンの見方

「KDplug\_in Differ for DocuWorks」をインストールしてツールの設定を行うと DocuWorks Desk のメニューバーにプラグインアイコンが表示されます。



KDplug\_in Differ アイコン

### 【比較機能アイコン】

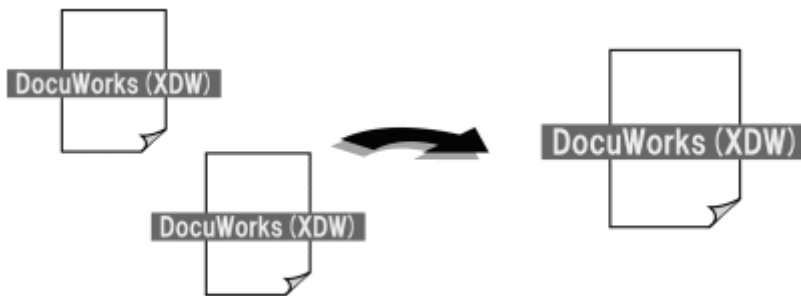
XDW ファイルを比較する場合にはこのアイコンを使用します。詳細については「[比較機能](#)」を参照してください。



## 比較機能（ファイルの比較）

ここでは例を挙げて KDplug\_in Differ for DocuWorks の使用方法を説明します。

### ◆ファイルを比較する



(1) DocuWorks Desk を起動します。

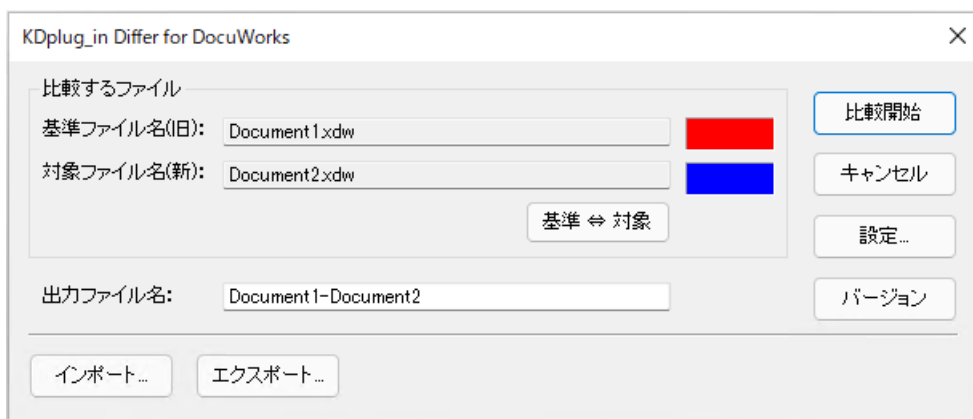
DocuWorks Desk ダイアログに表示されているファイルを 2 ファイル選択します。  
2 ファイル選択した状態 (DocuWorks 文書の周りが青で縁取りされている状態) で  
KDplug\_in for DocuWorks 比較機能アイコンをクリックします。  
クリックすると比較ファイル設定ダイアログが表示されます。

手順 1.  
比較するファイルを 2 つ選択します。

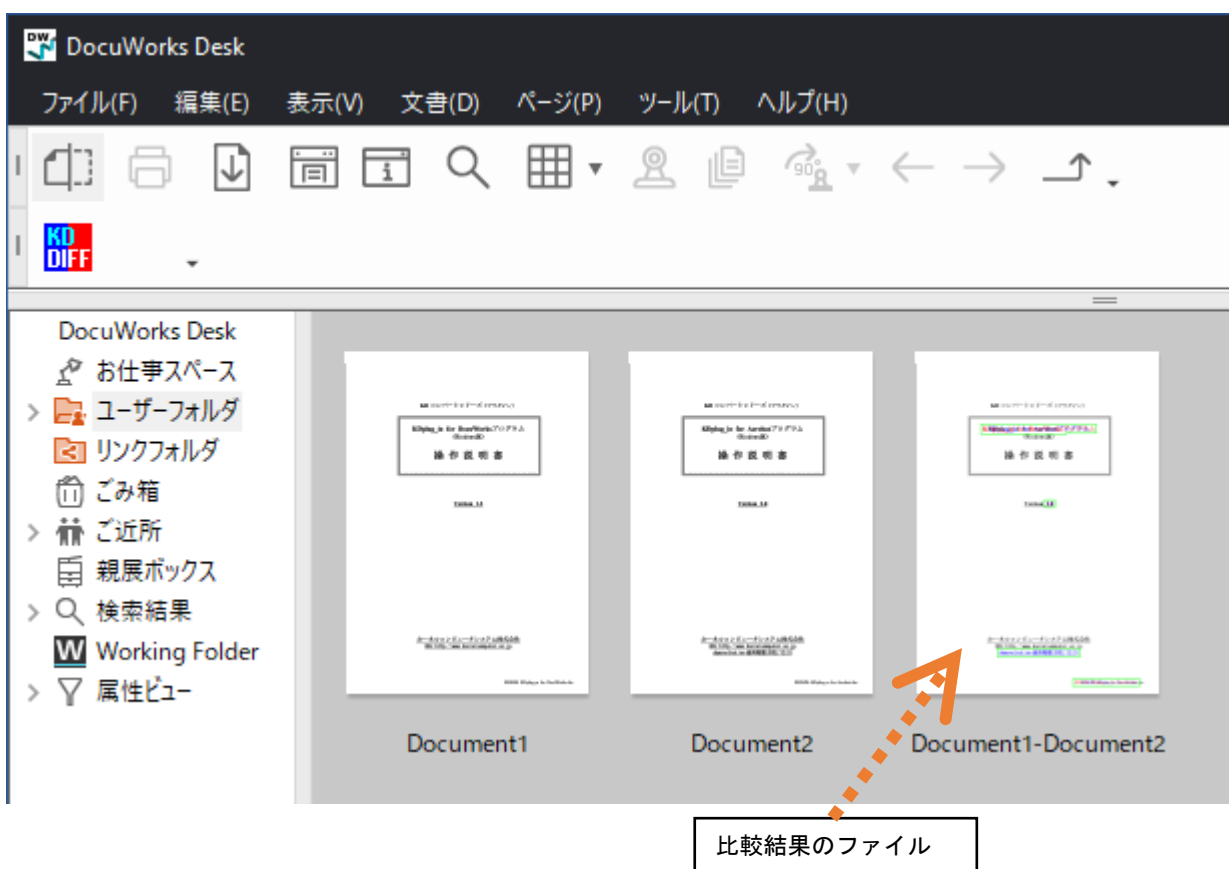
手順 2.  
比較機能アイコンを選択します。

※ キーボードの「Ctrl」、「Shift」ボタンを押しながらファイルをクリックすると、2 ファイル (複数) 選択することができます。  
マウスの左ボタンを押しながら指定矩形範囲内に表示ファイルをいれることにより、2 ファイル (複数) 選択することができます。

- (2) 「基準ファイル名(旧)」、「対象ファイル名(新)」に選択した XDW ファイル名が表示されます。  
「出力ファイル名」には選択した 2 つのファイルをつなげたファイル名が表示されます。



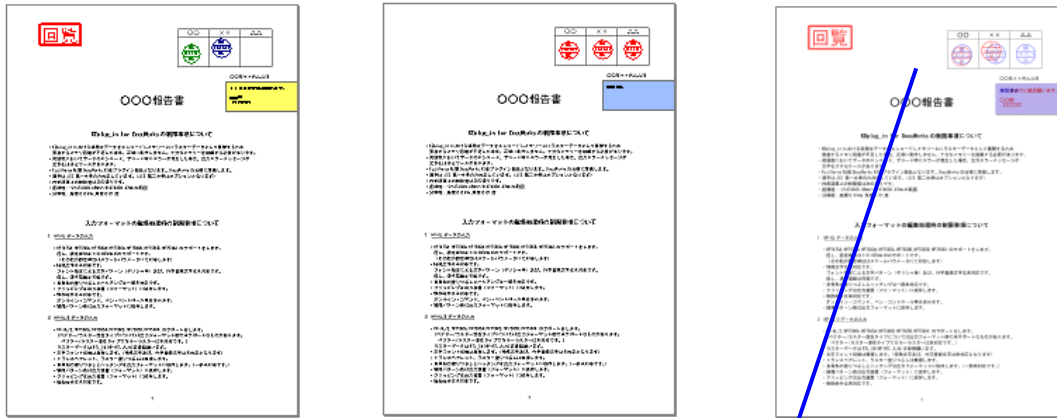
- (3) 「比較開始」ボタンをクリックすると変換を開始し、進捗表示画面が表示されます。
- (4) 進捗表示画面が閉じれば変換は終了です。  
変換が成功すれば DocuWorks Desk に比較結果を表示したファイルが作成されます。



## 比較機能のサンプル

### ◆サンプル①(アノテーション (印鑑、日付印、付箋、スタンプなど) の比較)

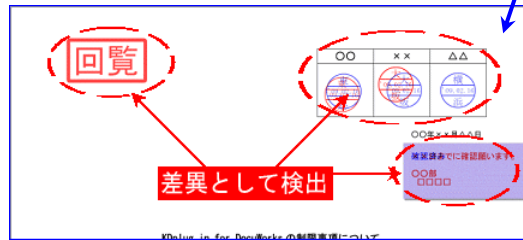
DocuWorks ファイルに追加されたアノテーションを比較することができます。



対象ファイル (A)

対象ファイル (B)

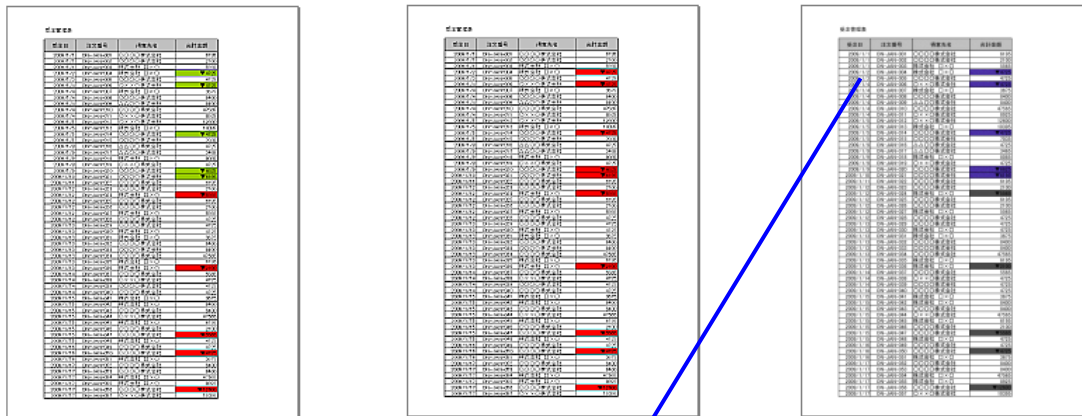
比較結果



比較結果の詳細図

### ◆サンプル②(色の違いを比較)

比較対象ファイルの色の違いを検出することができます。



対象ファイル (A)

対象ファイル (B)

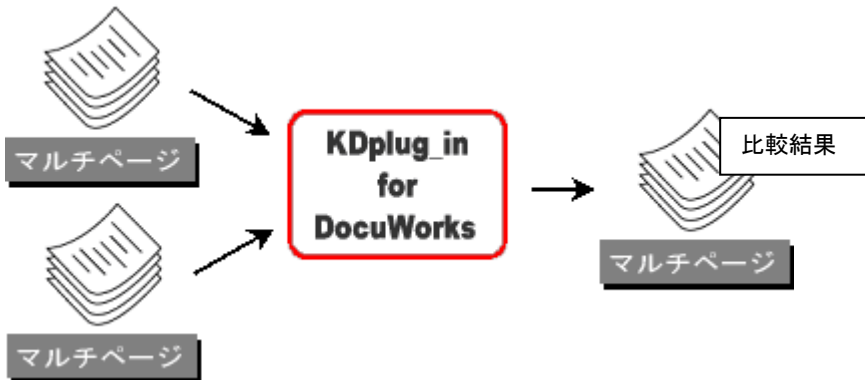
比較結果

受注日	注文番号	得意先名	差異
2009/1/1	DN-JAN-001	〇〇〇〇株式会社	
2009/1/1	DN-JAN-002	〇〇〇〇株式会社	
2009/1/1	DN-JAN-003	株式会社 ×	9560
2009/1/2	DN-JAN-004	株式会社 ×	4120
2009/1/4	DN-JAN-005	〇〇〇〇株式会社	4199
2009/1/4	DN-JAN-007	株式会社 × ×	3610
2009/1/4	DN-JAN-008	〇〇〇〇株式会社	3400
2009/1/4	DN-JAN-010	〇〇〇〇株式会社	47560
2009/1/4	DN-JAN-011	〇 × × 株式会社	3900
2009/1/5	DN-JAN-012	〇 × × 株式会社	12600
2009/1/5	DN-JAN-013	株式会社 × ×	0000
2009/1/5	DN-JAN-014	〇〇〇〇株式会社	3600

比較結果の詳細図

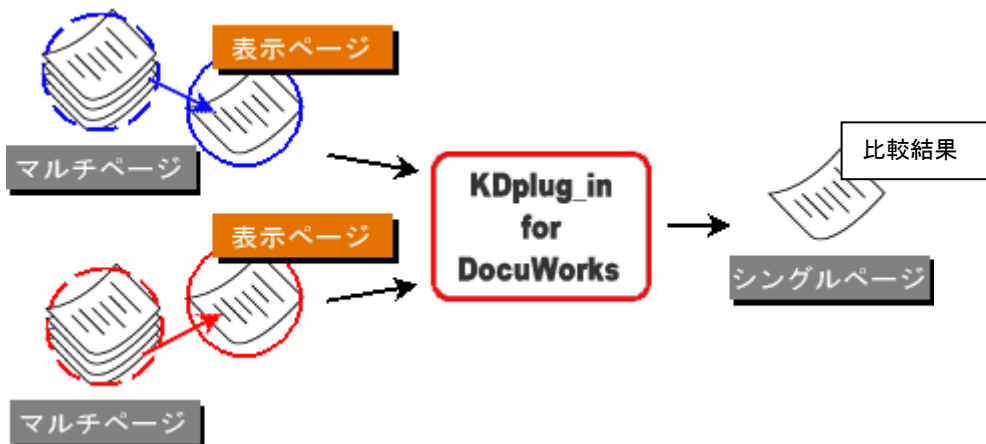
◆サンプル③(マルチページ文書同士の比較)

マルチページファイル比較に対応しています。



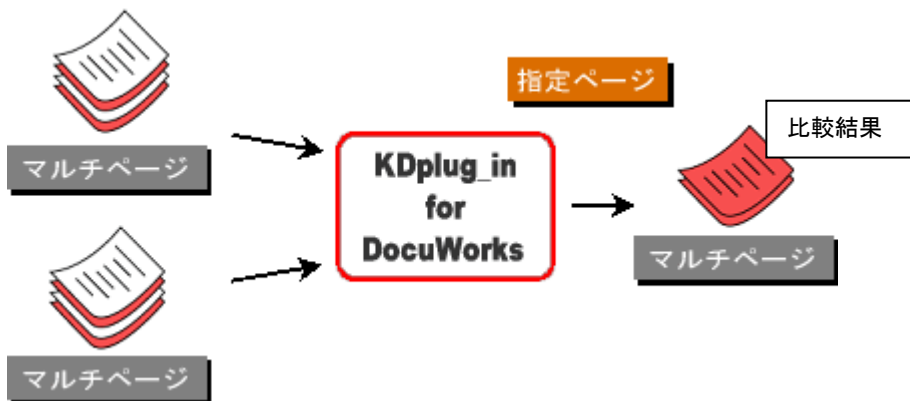
◆サンプル④(表示ページを抽出して比較)

マルチページファイルから DocuWorks Desk 上で表示しているページを抽出して比較することができます。



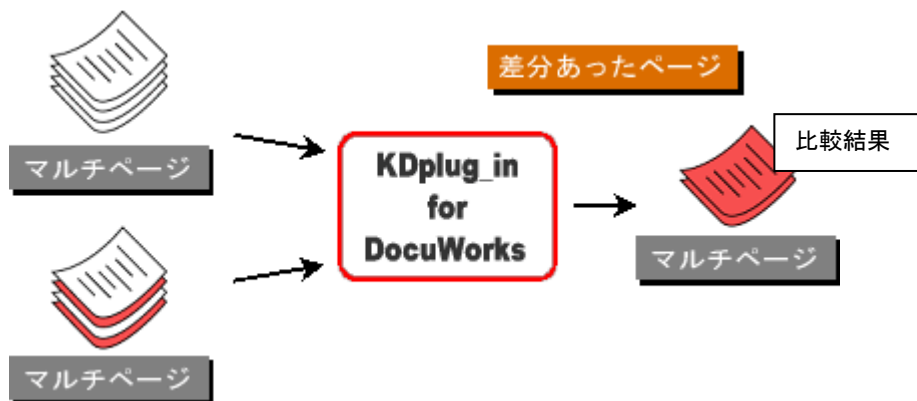
◆サンプル⑤(指定ページのみ比較)

比較をおこなう2つのファイルから比較処理するページを指定することができます。(例: 2, 4 など)



◆サンプル⑥(差分のあったページのみ出力)

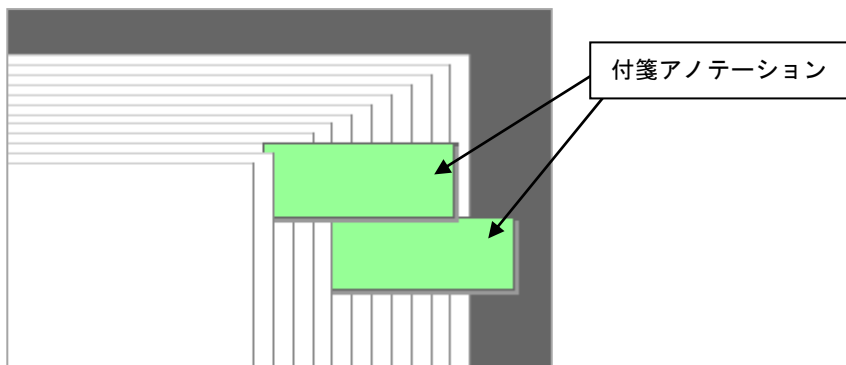
比較をおこなう2つのファイルから差分のあったページのみ出力することができます。



◆サンプル⑦(差分のあったページに付箋を貼る)

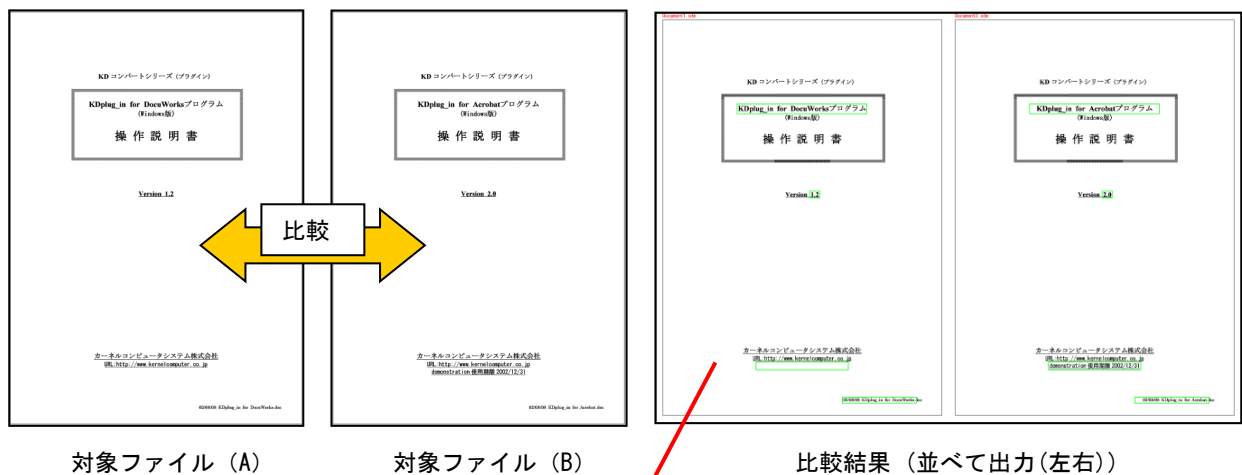
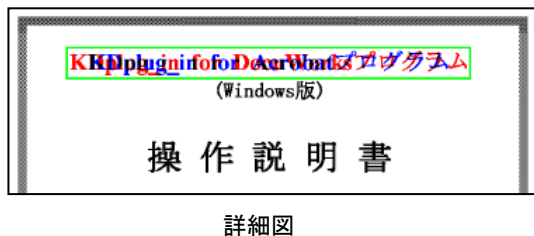
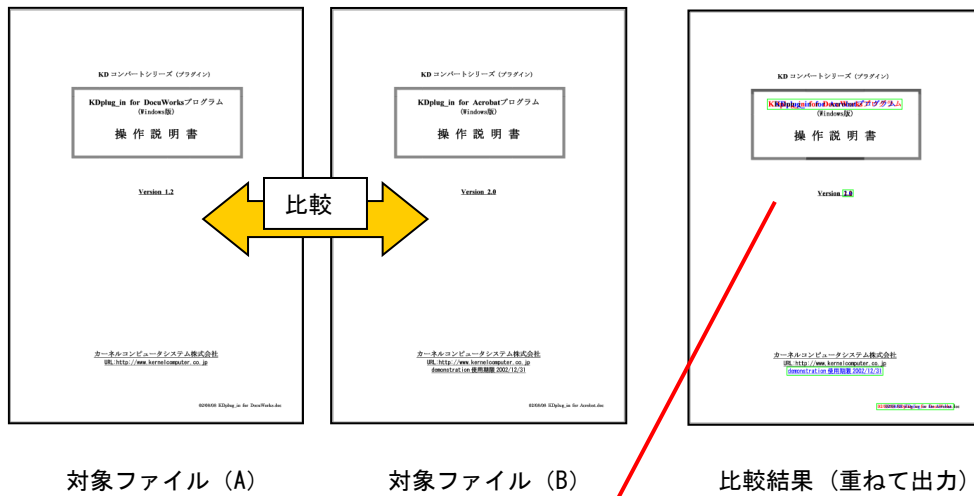
差分のあったページに付箋アノテーションを貼り付けることができます。  
ページ数の多いファイル同士を比較した際に、差分のあったページを見つけやすくなります。

<結果ファイル>



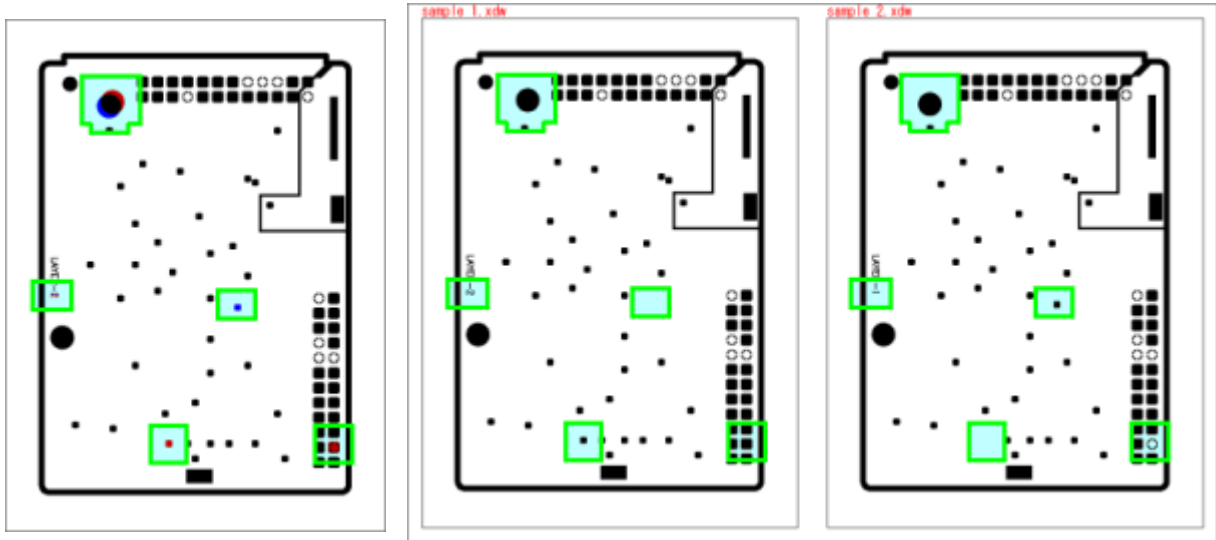
◆サンプル⑧(比較結果の出力レイアウト)

比較結果の出力レイアウトを指定することができます。(1. 重ねて出力 2. 並べて出力(左右、上下))



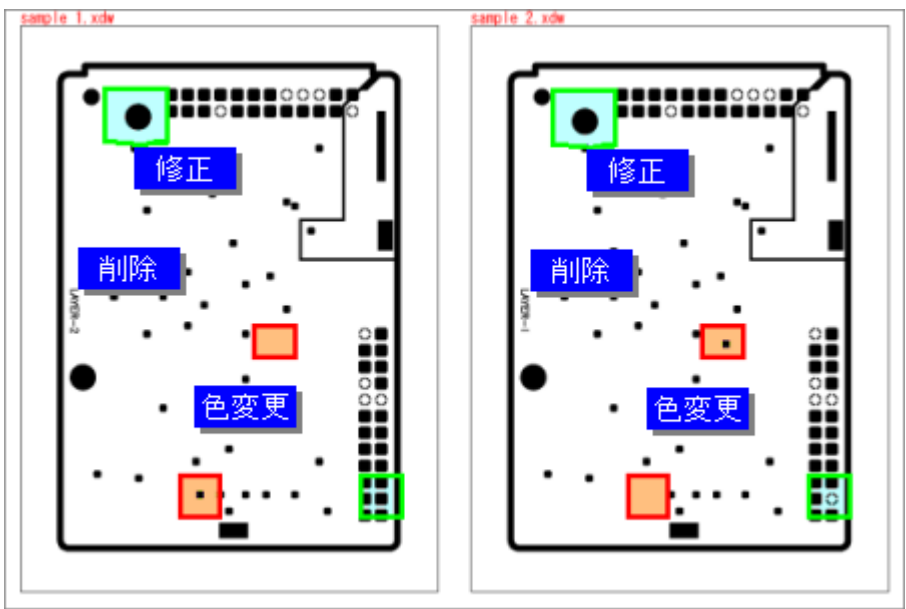
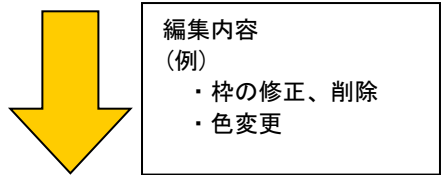
◆サンプル⑨(差異枠をアノテーションとして出力する)

比較結果の差異枠をアノテーションとして出力することができます。  
アノテーションにすることで、『DocuWorks Viewer』上から差異枠を編集することができます。



比較結果ファイル  
<出力形式：重ねて出力する>

比較結果ファイル  
<出力形式：並べて出力する>

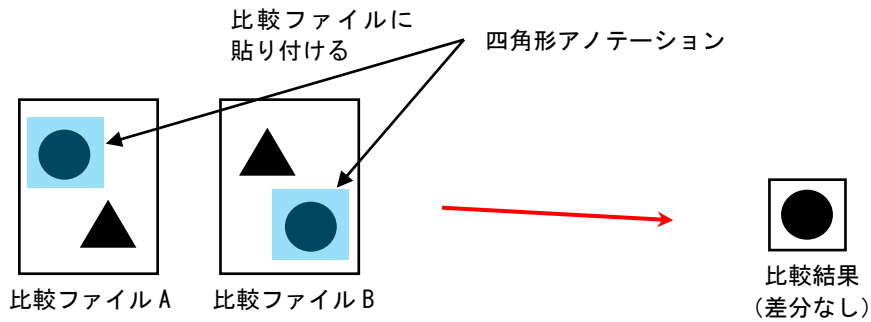


差異枠の編集結果

◆サンプル⑩(領域を指定して比較する)

領域を指定して、指定された部分だけを比較することができます。  
比較する領域の指定方法は、座標（開始位置 X, Y と幅高さ）による指定と、DocuWorks の四角形アノテーションによる指定があります。

(例) 四角形アノテーションによる指定の場合



## 動作環境

### 【対応 OS】

- Windows 10 [32bit/64bit]
- Windows 11
  
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019
- Windows Server 2022
- Windows Server 2025

### 【対応 DocuWorks】

- DocuWorks 7
- DocuWorks 8 (※8.0.3 を除く)
- DocuWorks 9
- DocuWorks 9.1
- DocuWorks 10

※動作環境は、富士フイルムビジネスイノベーション社製品 DocuWorks の動作環境に準じます。

## 標準価格

### KDplug\_in Differ for DocuWorks

販売価格：¥75,000(税抜き) / 5 ライセンス